

# 平成19年度 病害虫発生予察情報

## 発生予報第11号（10月）

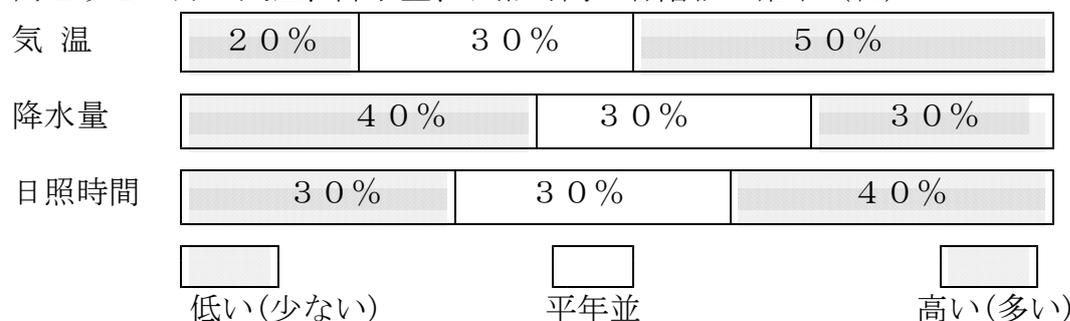
平成19年10月1日  
島根県

### 予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや少ない
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない～少ない
		菌核病	平年並～やや少ない
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	やや少ない

中国地方1か月予報（9月29日～10月28日・広島地方気象台9月28日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



防除所ホームページ <http://www.jpnp.ne.jp/shimane/>

### A. 果樹

#### 1) カキ

##### (1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県下カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ①予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数はやや少ない。
- ②9月下旬の巡回調査での被害果率は0.4%（平年6.5%）とやや少ない。
- ③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

### B. 野菜

#### 1) キャベツ

##### (1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや少ない～少ない

予報の根拠

- ①9月下旬の調査では発生量は平年に比べてやや少ない。
- ②10月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県下全域  
発生量 平年並～やや少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では発生量は平年並みである。
- ② 10月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県下全域  
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では、キャベツでの卵・幼虫・蛹発生圃場率は20.0% (平年24.4%)、寄生株率は2.0% (平年6.2%) で発生量はほぼ平年並みである。
- ② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域  
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① フェロモントラップによる7月から現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で1183頭(平年1647.7頭)と平年に比べてやや少ない。
- ② 9月下旬の調査では、キャベツでの卵塊・幼虫発生圃場率は40.0%(平年68.5%)、寄生株率は4.0%(平年10.0%) で発生量はやや少ない
- ③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所  
(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)  
〒693-0035 出雲市芦渡町2440  
TEL : 0853-22-6772  
FAX : 0853-24-3342  
ホームページアドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/shimane/>